



まいづる☆かん GO!!

第26号 発行日：平成31年3月19日

暖冬の影響で、舞鶴市内は雪が積もることも殆どなく過ごしやすい冬でした。春の訪れを感じる心地よい春風を感じながら、この1年を振り返ると様々な学びや出会い、別れがありました。今回も私たちの学校生活をほんの一部ですがご紹介したいと思います！

突撃☆しおん寮のごはん



しおん寮では平日の昼と夜の食事をケータリング契約しています。基本形はお弁当とご飯、味噌汁です。お弁当は栄養バランスが良く、おかずはバリエーションが豊富で、毎週火曜日と木曜日の夕食はラーメンやうどん、水曜日の昼食は丼ものとなっているなど、飽きないような工夫がされています。たまにパスタが出ますが、パスタが出た日はうれしいです！食事の準備と後片付けは当番制になっています。



ある月曜日のメニュー！
メインは魚のフライでした。他にご飯とお味噌汁がつきます。



ある火曜日のメニュー！
きつねうどんとかやくごはんでした。麺の湯切りをしてちょっぴり本格的な感じで食べられます♡



楽しくてついつい
大きい声で話しちゃう



みんなでワイワイ
食べています！

寮の一大イベント！部屋替え

しおん寮の部屋替えは年2回（3、7月）行っています。部屋は一人部屋か二人部屋かを選択でき、事前に希望を確認しています。最終的には、皆がより暮らしやすい寮生活を送れるよう納得のいく部屋替えができるようにします。部屋替えはわたしたちにとって一大イベント！みんなでわくわくしながら楽しく決めています。

共同生活なので、規則など制約が多いですが、皆でテスト前などはわからないところを教えあい協力し合って勉強しています！

また、誕生日会やバレンタインデーなど季節の行事では集まってお菓子を食べたり、ゲームをしたりしています。土日はお弁当がないため、友達と一緒に食事を作り楽しく生活しています。



初めての実習を終えて・・・(1年生)

12月10日から14日までの5日間、基礎看護学実習Ⅰに行きました。「対象を取り巻く生活環境及び日常生活上のニーズを理解し、原理・原則に基づいて日常生活援助が実施できる」という目的のもと、実習に挑みました。

私が受け持たせて頂いた患者さんは言語的コミュニケーションをとることが難しく、どのようにコミュニケーションをとればよいか悩んでいました。カンファレンスで相談することによって、グループメンバーや担当教員、指導者さんからの助言を頂くことで、視野が広がり悩んでいたことを解決することができました。

今回の実習で自分に不足していると分かった点を改善し、学んだことを今後の学生生活や実習に活かしていきたいと思います。



実習終了後、まとめの会でそれぞれの学びを共有しました

第69回 卒業式(3年生)

3月6日に第69回卒業証書授与式が行われました。式では先輩たちの堂々とした歌声や謝辞を述べられている姿にこれまでの学校生活での経験、これから看護師になるという決意を感じました。また卒業式のキャンドルサービスは、卒業した先輩たちからのともしびを受け継がれており、わが校の伝統を感じました。

お世話になった先輩方のご卒業されることは寂しいですが私たちも先輩方のような素敵な看護師になれるように日々精進していきたいと思いました。



今までありがとうございました

今年度で中村教育主事、東教員、船橋事務主任が舞鶴医療センター附属看護学校を去られます。

皆様方はいつも暖かく学生を見守り、支えてくださりわたしたちを安心させてくださいました。学校を去られるのはとても寂しいですが、今以上にご活躍されることを心から願っています。



左から船橋事務主任、東教員、中村教育主事



ナースマン☆のたまご 男子看護学生特集

当校は昭和31年4月に西日本最初の看護師（男子）養成を開始した学校です。現在、3学年合わせて15名の男子学生が在籍しています。実は舞鶴医療センター附属看護学校は他の看護師養成所と比べて男子学生が多いことで有名(?)なんです。

かつては、病棟で白衣を着た男性は珍しく、男子看護学生は患者さんから医師に間違われるというのは「男子学生あるある」の1つでした。最近ではそんなこともなくなり、男性看護師の認知度は高くなっているようです。

いつも大勢の女子学生に囲まれ日々奮闘している当校の男子学生から話を聞かせてもらいました!!



当校初の男子学生は第9回生の2名でした。



2年生の男子学生です。実習中なので白衣を着ています。初代男子学生と随分雰囲気違いますね…。

先輩ナースマン☆の功績

学生が式典、制服着用時に身に着ける襟章（通称 SNS）は男子看護学生がデザインしたものであることはご存知でしょうか？

その昔、絵画クラブの先輩から「学院（当時は国立舞鶴病院附属高等看護学院という名称でした）のバッジを作ってみよう」と発案があり、11回生男子学生Mさんがデザインを考えたそうです。青葉山を背景にした Senior Nursing School の SNS マークは60年経った今も引き継がれています。



未来のナースマン☆へ質問

【質問1】

まだまだ「看護師」というと女性の職業という印象があるかと思います。皆さんは「看護」を自分の職業として目指すことにしたきっかけは何だったのですか？

【皆さんの答え】

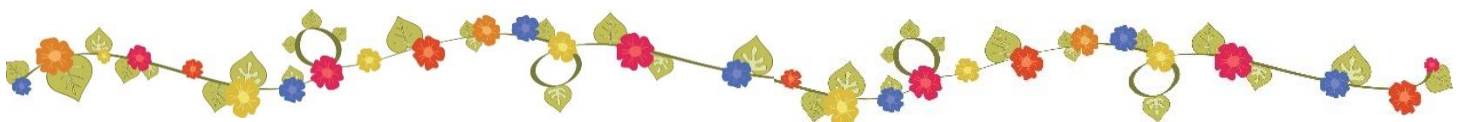
Aさん：医療関係の仕事に興味があり、多くの人と関わる仕事がしたいと思っていました。中でも看護の仕事は自分に合っているのではないかと思ったからです。

Bさん：身内に看護師がいて憧れがありました。

Cさん：祖母が入院した時に会った看護師の笑顔と優しさに一目惚れし、憧れました。

Dさん：母が入院した際、良くして頂いた看護師に憧れがありました。

Fさん：母親が看護師で話を聞くうちに興味をもつようになりました。



【質問2】

女性と男性では考え方や感覚が違い、学校生活で戸惑うことも多いかと思います。日頃、女子学生とのコミュニケーションで気を付けていることなどあったら教えてください。

【皆さんの答え】

- Aさん：常に下から出る。
- Bさん：壁を作らず、めっちゃフレンドリーにする。
- Cさん：女性のテンションに合わせる。
- Dさん：力仕事は率先してやる。
- Eさん：聞き役に徹する。
- Fさん：強い口調にならないように気を付ける。
- Gさん：身体に注目して見ないように視線に気を付ける。
- Hさん：女性と思わない。



結構、気遣ってくれていたのね・・・



【質問3】

「男子看護学生」で得した！と思う場面があれば教えてください。

【皆さんの答え】

- Cさん：人数が少ないので、男子全員が仲良くなりやすい！
- Dさん：コミュニケーションが苦手な僕でも男子なら受け入れてもらえた！
- Eさん：全体数が少ないので男子の仲が深まりやすい！
- Fさん：人数が少ないから楽しくアホができる！



神戸で開催された国立病院総合医学会での一コマ。普段から一緒に行動することは多いです☆



男子看護学生であることはマイナスばかりではありません



男子更衣室は他学年の男子との交流の場であり、女子に聞かれたくない秘密の話もすることも。



男子でつるんでいるばかりではありません。一人の時間も作り頑張るときもあります☆

男子学生の皆さんが少数派であることをプラスに捉え、女性にも気遣い(?)しつつ学校生活を楽しんでいることがわかりました。

今回の特集を組むにあたり2年生の男子学生の皆さん、臨地実習で忙しい中ご協力ありがとうございました。未来の日本を支えるナースマンを目指しこれからも頑張ってくださいね。

この学校新聞「まいづる☆かん GO!!」はホームページでも観覧できますので、一度ホームページも見て下さいね。

アドレス (<https://maizuru.hosp.go.jp/school/>)

